

主 文

本件上告を棄却する。

上告費用は上告人の負担とする。

理 由

論旨は「最高裁判所における民事上告事件の特例に関する法律」（昭和二五年五月四日法律第一三八号）一号乃至三号のいずれにも該当せず、又同法にいわゆる「法令の解釈に関する重要な主張を含む」ものと認められない（上告理由第一点指摘の、原判決に「控訴本人の供述」とは「証人D＝控訴本人の父＝の供述」との誤記であることは明白である）から右論旨については調査しない。

よつて、民訴四〇一条、同九五条、同八九条に従い、全裁判官一致の意見によつて、主文のとおり判決する。

最高裁判所第二小法廷

裁判長裁判官	霜	山	精	一
裁判官	栗	山		茂
裁判官	小	谷	勝	重
裁判官	藤	田	八	郎